

平成23年度事業計画書(案)

最近の畜産情勢は、配合飼料価格の高止まりが続いていて、さらに原油価格の高騰から生産費の増加が懸念される。また、TPPへの参加問題や担い手不足による先行き不安など、畜産全般において非常に厳しい状況である。

また、昨年宮崎県における口蹄疫の発生や、この冬における高病原性鶏インフルエンザの各地での発生等により、衛生管理の徹底が強く求められ、さらに、国際化時代の進展とともに、消費者の畜産物への安全・安心についての要請が強くなっている。

当協会ではこれらに対応するため、畜産経営における各種補助事業や受託事業を積極的に取り組み、畜産経営者への支援や畜産情報の提供、畜産物の消費拡大、そして、家畜の衛生指導、家畜の改良や能力検定、肉用牛や養豚における価格補てん等を多岐にわたって実施し、本県畜産の発展に鋭意努力しているところである。

平成23年度は石川県、(独)農畜産業振興機構、地方競馬全国協会、(社)中央畜産会、(社)全国肉用牛振興基金協会、(社)家畜改良事業団等の助成を得て、生産から消費に至る各種事業を幅広く実施し、県下の畜産基盤の安定と畜産振興に資する。

記

| | |
|------------|------|
| 1. 経営指導事業 | 10事業 |
| 2. 家畜衛生事業 | 7事業 |
| 3. 家畜改良事業 | 4事業 |
| 4. 価格対策事業 | 6事業 |
| 5. その他畜産活動 | |

石川県養鶏協会、石川県養豚協会、石川県肉用牛協会、石川県馬事畜産振興協議会、石川県家畜人工授精師会、全国和牛登録協会石川県支部の事務受託